

## 医薬製造化学分野

この度の震災では、卒業生をはじめとする多くの皆様のご心配・ご配慮を頂き、誠にありがとうございました。現在の医薬製造化学分野の状況を簡単ですが紹介したいものと思います。

震災直後は、普段はキレイに整った？書類も本棚ごと床に倒れ、このように散々たる状況でした。また、多くの試薬やガラス器具、機器等も破損し、震災直後には原状復帰までの道程は長いものと思われました。しかしながら、皆様のご支援や学生さん達の研究再開への熱意もあり、現在は散乱した書類も整理され、無事に研究活動を再開することができました。



震災直後の第3研究室

また、今回の震災では高圧ガスボンベも倒れ、ガスボンベの危険性、ならびに固定の重要性を改めて実感しました。そこで、今後の地震対策の一環として、所有するボンベの本数削減と小型化を行い、さらに耐震固定をしっかりと行いました。なお、書棚にも転落防止バーの設置を行っています。



現在の第3研究室



今後も医薬製造化学分野では職員、学生共々、これまで以上に研究に励み、有機化学を通じて、東北地方を盛り上げていきたいと思っています。またどこかでお会いした際は、一声かけて頂けると幸いです。